

保護者の皆様

西東京市立谷戸第二小学校
校長 鈴木 優介

令和6年度 後期学校評価アンケートの結果

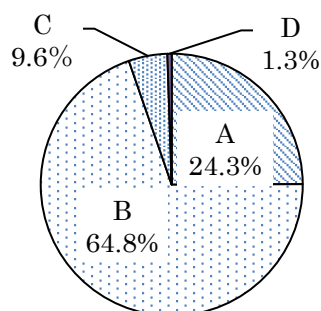
日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。さて、12月初めにご回答いただきました学校評価のお礼とご報告をいたします。この結果は、保護者の皆様からの貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。なお、後日本校のホームページにも公開しますので、ご覧ください。

(配布数546、回答数301)

1 保護者アンケートの結果

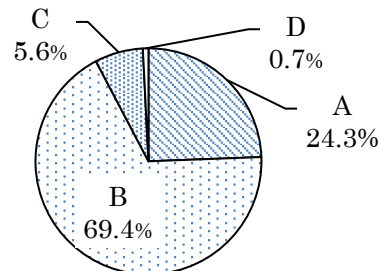
(A=とてもそう思う B=そう思う C=あまりそう思えない D=そう思えない)

1 学校は、児童の学習規律を確立し、基礎学力の定着を図っている。(モノグサ、eライブラリ、家庭学習習慣など)



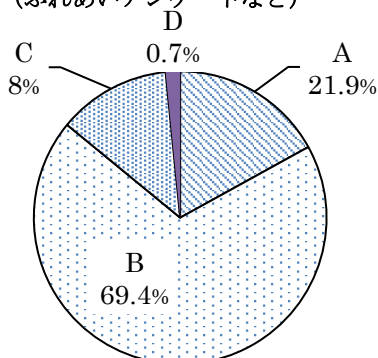
A・B合わせて約90%の高い評価をいただきました。従来のプリント等の学習と、タブレット学習の併用で、ハイブリット化した学習形態を目指し、引き続き児童の学力向上に教職員一丸となって努めてまいります。

2 学校は、児童の規範意識の向上を目指し、適切なあいさつや言葉遣いなどの礼儀を身に付けられるよう、学習・生活指導に取り組んでいる。(あいさつ週間など)



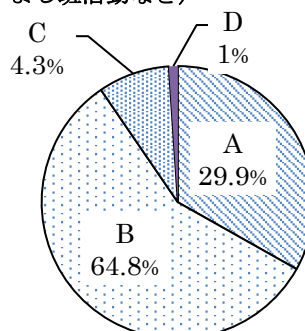
A・B合わせて93%以上の高い評価をいただきました。全校朝会や学級指導を通じて言葉の大切さを話したり、高学年が中心となり、あいさつ運動をしたりしています。今後も児童の規範意識の向上を目指し、よりよい指導ができるよう努めてまいります。

3 学校は、思いやりのある児童の育成に努め、いじめの未然防止、早期発見に取り組んでいる。(ふれあいアンケートなど)



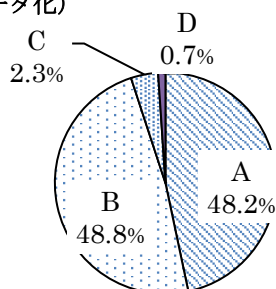
A・B合わせて90%以上の高い評価をいただきました。今後も、道徳の学習、異学年交流を通して、思いやりのある児童の育成に努めるとともに、日々の生活指導やふれあいアンケートを通して、いじめの未然防止・早期発見にも努めてまいります。

4 学校は、兄弟学級を中心とした異学年交流を通して、児童と児童、児童と教師のかかわりを重視した教育活動に取り組んでいる。(なかよし班活動など)



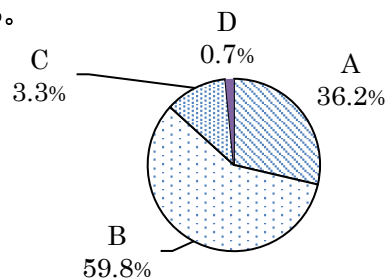
A・B合わせて、94%以上の高い評価をいただきました。なかよし班活動での異学年交流の他に、短縄週間では教え合い、学び合いの貴重な時間もありました。今後も児童同士、教師とのかかわりを大切に、教育活動に取り組んでいきます。

5 学校は、タブレットを活用し、西東京市GIGAスクール構想に取り組んでいる。(モノグサ、eライブラリ、ペーパーレス、アンケートのデータ化)



A・B合わせて96%以上の高い評価をいただきました。本校では昨年度に引き続き、GIGA・情報活用能力の育成を目標に、教員一同、タブレットを活用しています。さまざまな学習アプリを活用し、児童の学びがより一層深まることを目標に、今後も時代に合った学習形態を考えていきます。

6 学校は、保護者や地域の方々にボランティアやゲストティーチャーを依頼したり、学校公開・学校ホームページ・メール配信を使ったりして、地域に開かれた教育活動を実施している。



A・B合わせて95%以上の高い評価をいただきました。今年度は、コミュニティスクールとして、より一層地域の皆様と協力して開かれた教育活動を実施していきます。引き続きホームページの更新やメール配信等でもお知らせしていきます。

2 保護者アンケートの分析

今回のアンケートでは、全ての項目で「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて約8割を超える評価をいただきました。

「あまりそう思えない」「そう思えない」と評価いただいたところがある部分については、謙虚に受け止め、学校運営の工夫・改善に努めてまいります。

3 児童対象アンケートの結果

評価	4	3	2	1
4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない				
① あなたは、授業が始まる前に、きちんと座り、学習の準備を整えられましたか。	37.3%	48.2%	12.7%	1.8%
② あなたは、楽しく、意欲的に授業や学習に取り組んでいますか。	49.8%	38.8%	9%	2.4%
③ あなたは、あいさつをしたり、言葉遣いに気を付けたりして生活できましたか。	36.5%	50.8%	9%	3.7%
④ あなたは、気持ちよく学校生活を送るために、きまりやルールを守ろうと心がけましたか。	54.7%	37.6%	5.3%	2.4%
⑤ あなたは、自分や友達の命や心を大切にしていますか。	81%	15.7%	1.7%	1.6%
⑥ 授業では、自分の思いや考えをノートに書いたり、友達と話し合ったり、発表したりできましたか。	46.3%	40.6%	10.4%	2.7%
⑦ いいところや頑張ったことを先生や友達同士で認め合ったり、褒め合ったりしましたか。	46.5%	38%	11.6%	3.9%
⑧ あなたは、きまりを守って、すすんでタブレットを活用することができましたか。	58.4%	34.1%	5.9%	1.6%

4 児童アンケートの分析

8項目全てにおいて8割から9割の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えています。これは、学校生活の多くの場面で満足傾向にあると捉えられます。特に⑤の項目については約96%の児童が「思う」と評価しており、「特別の教科 道徳」などの授業をはじめ、学校生活の中で他者を思いやって関わることができているものと考えます。

しかし、約15%の児童が「ややそう思う」「思わない」としている項目⑥や⑦については、友達との対話などを工夫したり、タブレットなどの活用を工夫したりしていきたいと思います。

5 学校評価のまとめについて

この評価の結果を受けて、学校教職員で話し合いを深めるとともに、学校運営協議会委員による学校関係者評価委員会にて討議していただきます。そして、今後の教育活動をより充実させていけるよう努めてまいります。

6 保護者からのご意見について

- ・タブレットで連絡事項を確認して明日の準備をすることが習慣になってきました。モノグサ等、毎日少しずつでも学習が習慣化されて嬉しく思います。不安なことがあった時、連絡帳を通して相談したことに先生が親身に対応してくださり親として、とても安心できました。
- ・算数少人数クラスを拝見しました。子どもたちがお友だちと協力して答えを導き出す真剣な姿が素晴らしかったです。また、とても楽しく算数に取り組めるよう準備してくださる先生方、いつもありがとうございます。
- ・音楽会や学校公開など、二学期も学校の様子をいろんな方面からみることができました。子供たちがとても楽しそうで感動しました。卒業した子供のことも、元担任の先生が気にかけて声をかけてくださったり、今お世話になっている子供も、苦手なことが克服できるよう、担任の先生がいろいろ考慮してくださったり、谷戸二の温かくて優しい先生達に感謝です。子供が校長先生は全校生徒の名前を絶対に覚えている、と言っています。それだけ、一人一人に目を向けていただいているのかなと思っています。
- ・出前授業や地域施設見学などの総合的学習の取り組みをされており、子ども達にとって貴重な機会になっていると思います。いつもありがとうございます。
- ・アンケートの内容の中に、わからない部分もあるので『わからない』の欄をつくっていただけるとありがたい。
➡「わからない」の欄を新たに設けようと考えています。
- ・2年ほど前は、單元ごとにドリル型のテスト問題があったと思うのですが、それがなくなり、どのようなテストを行っているのか分からなくなり、どこまで授業を理解しているのかを家庭で判断材料が少なくなってしまったように思います。タブレットを使用する機会が多い点が、不安になることも多くなりました。
➡デジタルと紙の活用状況は学年や児童の実態に応じて変わりますが、引き続き、ハイブリット化を目指して、双方のよさを生かして、学習に取り組めるようにしていきたいと考えています。